

(仮訳)

2020年8月3日、リスボン

閣下、

本日、両国が1860年8月3日に「江戸」で日ポルトガル修好通商条約を締結し、外交関係を樹立してから160周年を迎えました。同条約は、1543年に両国が初めて種子島で出会ってから始まった、深く、そして長期にわたる関係を公式なものとししました。

本日、我々は、あらゆる分野においてポルトガル政府が、日本とポルトガルの友好協力関係を強化すべく取り組むという決意を新たにいたします。

歴史的かつ友好的な結びつきにより、両国とその国民は強力かつ様々な協力の枠組みを享受し、それは今後も一層強化されていくものと思います。この点において、私はポルトガル語諸国共同体（CPLP）のオブザーバー国としての日本を強調したいと思います。

ポルトガルは日本とEUの間で締結された戦略的パートナーシップを歓迎します。協働することで、我々はより適切な形で、国際衛生、欧州とアジアの連結、環境、海洋保護、デジタル化、自由でルールに基づいた多国間自由貿易の促進といった、我々が直面している課題に取り組むことができるでしょう。両国は、民主主義への尊重、人権及び法の支配といった基本的価値及び原則を共有しています。

最後に、日本の令和2年にあたる本年に予定されていた様々な周年祝賀行事は、感染症拡大の影響により延期せざるを得なくなりました。事態が収束した近い将来に、我々の歴史的友好関係を記念して様々な活動を再開させる用意があります。

この機会に貴殿への敬意を表します。

アントニオ・コスタ

安倍 晋三閣下
日本内閣総理大臣